

名古屋大学未来社会創造機構・特任教員公募要領

1	募 集 件 名	特任准教授、特任講師または特任助教の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学未来社会創造機構 FUTURE Society Studio	
4	募 集 内 容	未来社会創造機構は、未来社会の創造につながるイノベーション創出を目的とした組織で、SDGs（Sustainable Development Goals）に代表されるグローバルな社会課題の解決に向けて、人文・社会系と理系分野の協働による「総合知」で、世界レベルでトランスフォーマティブイノベーションを強力に牽引することを目指しています。「FUTURE Society Studio（FSS）」では、「総合知」にふさわしい広い視野、経験、社会・市民のニーズを捉える洞察力、および、その解決策を方向付ける提案力・実行力を持ち、FSS の活動を推進いただける教員を公募します。 [職務内容] （雇入れ直後） ・社会課題の分析およびその解決のための産学官民の連携活動を伴う学際的研究プロジェクトの推進。 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 特任准教授、特任講師または特任助教・1名	
		[着任時期] 2026年1月1日以降、出来るだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	社会課題を包括的に捉え、解決に寄与する学術分野
		小分類	
6	勤 務 形 態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（採用日から2026年3月31日まで） 試用期間：あり（採用日から6か月） 契約の更新可能性：有（契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断。更新する場合は、2027年3月31日まで。本ポストは、現時点で2027年3月31日まで措置されており、2027年4月以降は同ポストが再措置された場合に限る。） 通算契約期間：10年を上限とする。	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位（取得見込みを含む）あるいはそれに相当する経験・能力等を有すること ・広い視野をもって学際的研究に取り組む意欲と能力があること ・社会課題解決に対する意識、能力、熱意があり、協調性をもって取り組むことができること	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html	

		・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	2025年10月31日まで
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1) 履歴書（任意様式） 2) 研究業績リスト（任意様式） 3) これまでの業績の説明および着任後の抱負（3ページ以内） 4) 所見を求めることができる方（2名）の氏名、所属、連絡先（電話番号・E-mailアドレス） 5) 類型該当性の自己申告書（指定様式） 6) 博士学位を有しない場合、博士学位相当の経験・能力等を説明する書類（A4判1頁程度） 1)～5) および必要に応じて6) を1つのPDFファイルにまとめて、応募期間内（必着）に、以下へ電子メール添付による提出、又はPDFファイルをアップロードしたファイルサーバーのアドレスを電子メールにて連絡。 提出先：kenso-saiyo@t.mail.nagoya-u.ac.jp 問合せ先：名古屋大学未来社会創造機構 Future Society Studio 室長 佐宗章弘 sasoh.akihiro.e0@f.mail.nagoya-u.ac.jp ※「類型該当性の自己申告書」の様式は、以下のURLからダウンロードして使用してください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/jn7PqQCzkfrtyej ※PDFファイルにはパスワードを設定し、パスワードは別途お知らせください。 ※電子メールの件名は「FSS 教員応募」としてください。 ※内容を確認後、応募書類受領の連絡をいたします。 ※電子メールによる応募を原則とします。 [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、電話又はE-mailで連絡を行う。
11	その他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当

	判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・ 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンター Web サイト：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	---